

〔夢と志を育てる学園〕

玉手山学園 広報

巻頭 理事長挨拶

謹賀新年 夢と志 (Dreams and Wills)
これが玉手山学園



恩 感

建学の精神「感恩」

人は、さまざまな恩恵のもとで 生かされている
この真理に目覚め 感動と感謝から生まれる 豊かな心と情熱をもって
人の幸せを願い 行動するとき 私たちは成長し 社会に貢献できる
～「ありがとう」に出会い 気づき 感動 感謝の行動から
新しい「ありがとう」が生まれる～

謹賀新年 夢と志



謹賀新年 実直に歩み
「豊かな1年(365日)」を

令和2年(子年)2020年
半世紀ぶりの東京(日本)オリンピック

建学の精神
「感恩」「ありがとう」は
人を育てる

人生で巡り合う「ありがとう」に気づき
幸せを願う豊かな心を形にし 行動する

夢と志 (Dreams and Wills)

夢(なりたい自分)と 志(頑張る)
どうやって 夢と志 を育てる
各人各様でOK “夢は見つかる”

ライダーは福科大高校生 藤田武蔵さん
(R1.5 鈴鹿サーキット) 色んな「夢中」がある



SPED (本学卒業生 藤岡氏 前列左) の志に魅せられ
社会福祉学科学生 (前列 中央2人坂元理恵さん、南翔太さん) がミンダナオ島へ

やってみよう! (試してみよう(自分を))
できる方法を考える 若さは宝

ワクワク と “もしも……” の不安
やらない(逃げる)理由 より
できる(チャレンジする)方法を

(Dreams and Wills)これが玉手山学園

面白い1年にするために

ありがとうを大切に 夢と志 (Dreams and Wills) を育て
やってみよう (試してみよう)

福科大のコラボ弁当 もっとチャレンジを 豊かな発想力は無限

福祉栄養学科の学生が考えた弁当 コンビニで販売(顔写真入り)
学生のアイデアが実商品 “世間(学外)” に 無条件に嬉しく誇らしい



福祉栄養学科学生(瀬戸風薫さん、小林夏歌さん、池崎七海さん)と
企業とのコラボ弁当がコンビニに! 彼女たちがアイデア提供



店頭のコラボ弁当 (R1.11)

柏原の街7万人 学園5千人の 豊かな(頼れる)エネルギー

街のために“何か”ができる
私たちも成長(ありがとうの言葉で)
街は「ありがとう」「夢と志」
「やってみよう」の舞台



福科大沖縄県人会カチャーシー
柏原市民総合フェスティバル (R1.10) に定着
3人のお母さんが沖縄から

令和2年(2020年)をどう過ごす

“夢は逃げない 逃げるのはいつも自分” さあ「夢と志」を育てよう

思 感

建学の精神「感恩」

理事長・学園長 江端 源治



教育学部 第1期生卒業にあたって

大学 教育学部 湯川 雅紀

教育学部は今年度で完成年度を迎え、第1期生が卒業します。かれら4年生は初めての教員採用試験や公務員試験に挑みました。

結果として「子ども教育」と「発達支援教育」の両専攻で合わせて10数名が合格しました。各々が大学での学びを結果につなげる中で、発達支援教育専攻の前田菜々子さんは、特別支援学校教諭を目指して見事北海道の教員採用試験に合格しました。

玉手山学園江端理事長は以前、学内のプロジェクト（Tama Square建設）で協力してもらっていた経緯から彼女のことをよく覚えており、この度の合格を祝してぜひお会いしたいということで、本対談が実現しました。



理事長(以下 理):なぜ北海道で受験しようと思ったのですか？

前田(以下 M):北海道の自然に惹かれたのと、人が伸び伸びと暮らしている様子に憧れたからです。

理:北海道といっても広いでしょう。どのあたりで勤めたいですか？

M:帯広はきれいな街だと思いました。あと田舎暮らしにも興味があります。

理:大学4年間を振り返ってひとこと。

M:自分のしたいことを全力でできた4年間でした。

理:迷いはなかった？

M:ありました。現実の教師という仕事の大変さを知れば知るほど自分が果たして教師に向いているか自問自答することしきりでした。しかし教育実習で肢体不自由児のクラスに配属されて2週間の間に、迷いは消えて自分が本当にやりたい仕事はこれだと確信することができました。

理:後輩に教員採用試験対策の秘訣を教えてください。

M:グループ学習です。みんなと一緒に助け合うことで気持ちが折れそうになった時もうけずに頑張ることができました。一緒に勉強した中で他にも現役合格した友人がいます。

理:本学は一生変わらぬあなたの母校です。青春の故郷です。これから本学がどのような大学になってほしいですか？

M:学生が自分のやりたいことに全力で、諦めずに、怯えずにチャレンジできるような環境であり続けてほしいです。

理:そうになれるよう頑張ります。本日はどうもありがとうございました。おめでとう！これからも頑張ってください！



伸びしろをしっかりと伸ばした 徳永結羅さん

大学 心理科学部長 山田 富美雄

心理科学部1期生として103名の同級生とともに徳永結羅さんは入学してきました。おとなしい、もの静かな、一女子学生でした。

まじめで、好きなことなら夢中になる性格なので、授業にはしっかり出席し、試験勉強も完璧。その甲斐あって、成績は抜群。真面目さが功を奏し、精神保健福祉士コースへの配属が決まりました。

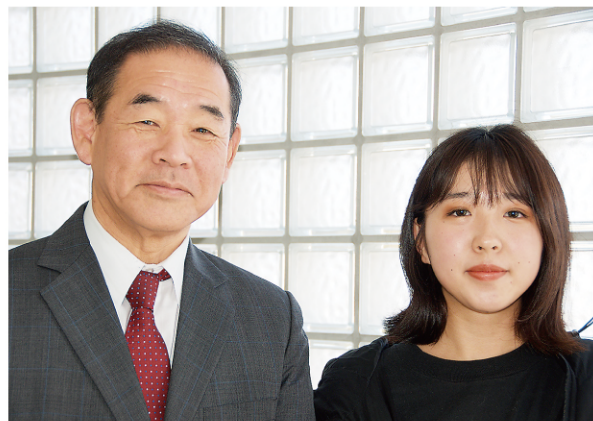
成績優秀者として表彰されることも何度か続き、勉強のできる女子学生として教員仲間も承知するほどに成長して成人を迎えられました。

ゼミ配属も決まり、精神保健福祉士の勉強に磨きがかかります。そして3年の夏休み、いよいよ病院と施設への実習が始まりました。不安っぱいの彼女。実習が終わって秋学期がはじまるころには活発さが付け加わった立派な精神保健福祉士候補となっていました。11月に開催された

実習報告会では、病院・施設の実習指導者を前に、元気一杯に報告をしてくれました。

4年へと進級後、国試対策勉強の合間に公務員試験の準備も進め、秋口にはなんと難関の大阪府心理職採用試験に合格を果たしました。

公認心理師を目指す可能性もある職場なので、これからもさらに伸びしろを延長させてください。1期生として卒業の後、卒業生としての元気な笑顔をみせに来てください。大いに期待しています。



福祉栄養学科 × アンスリー × シノブフーズ 産学連携コラボ商品開発プロジェクトを 実施しました



大学 福祉栄養学科 大迫 雅人
大学 福祉栄養学科長 峯松 正敏



福祉栄養学科では、学生(大迫ゼミの3、4年生)が商品企画開発に携わり、実際に商品化まで至った事例についてご報告いたします。令和元年5月より約半年間の検討期間を経て、学生が考案したおにぎり4品と、本学科レシピサイトである「ふっかの健康食ラボラトリー」掲載レシピをアレンジして取り入れた弁当を含む4品を、京阪電車・南海電車の駅ナカコンビニとして有名な「アンスリー」にて、令和元年10月29日(火)より約1ヶ月間の期間限定で順次販売いたしました。(本学科ホームページや公式Twitterで「ふっかの健康食ラボラトリー」や本企画の情報発信をしていますので、是非ご覧ください。)

ヘルシーで野菜を多く使用した豆腐ハンバーグを入れたお弁当や、嗜好性やオリジナリティーを重視した「明太マヨのチーズ焼きおにぎり」など、どれも学生が考案したオリジナル商品です。

新商品が販売される度に通勤経路にあるアンスリーに行って、陳列棚に並ぶ商品の写真をお店の許可を得て撮影し、おにぎりや弁当を自ら購入する日々がしばらく続きました。そして、学生たちが考案した商品が消費者に届くことの嬉しさを共有していました。

試作や定例の会議では、アンスリー様やシノブフーズ株式会社の担当者様より「このままでも販売できるよ!」「おいしかった!」と好評をいただきました。また、学生目線での商品のコンセプト案や発想に驚かされていました。

食材の色使いや味の調整方法など具体的なアドバイスや、お弁当やおにぎりの商品化までの工程等、本企画を通して、学生の皆さんは嗜好性や衛生管理に関する要点を学び、実務に即した貴重な経験を得ることができたと思います。

今回の産学連携コラボ企画は、私(大迫)とシノブフーズ株式会社の商品開発担当の五島光恵さんが福祉栄養学科1期卒業生で同期生だったこともあり、実現することができました。今後はシノブフーズとの連携を継続することに加えて、地域に根ざした学生主体の産学連携プロジェクトにも参画することで、学生の夢と志を醸成し、社会に貢献できる人材を福祉栄養学科から輩出できるように努めます。そして、産学連携を通じて得られた学生たちの学習成果を、本誌の報告記事で引き続き掲載させていただきます。



商品企画開発に参加した3年生



3年生試作



シノブフーズ(株)との定例会議(プレゼン風景)



商品企画開発に参加した4年生



4年生試作



学生考案レシピのお弁当!





保健医療学部提供の 「健康づくり教室」

大学 保健医療学部長 森 禎章



保健医療学部では、令和元年10月より新たな地域貢献プログラムとして「健康づくり教室」を附属整形外科リハビリ診療所において開始いたしました。

この教室では、保健医療学部教員により「太極拳ゆったり体操教室」、「ピラティス体操教室」、「ダンスでリハビリ教室」、「全身元気に！健口教室」の4つのプログラムを毎週水曜日に行っており、現在4教室あわせて約100人の地域住民の方々にご参加いただいております。健康づくり教室

には学生もボランティアとして参加していますが、この地域貢献活動が学生のリハビリテーションに対する学修意欲を高め、専門知識や技能の向上に役立つものと期待しています。また、保健医療学部ならびに附属整形外科リハビリ診療所が協働して地域のみなさまの健康づくりをサポートすることで、学園を中心とした新しい地域コミュニティが形成されることを願っています。みなさま方におかれましてもご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



太極拳ゆったり体操教室



ピラティス体操教室



ダンスでリハビリ教室

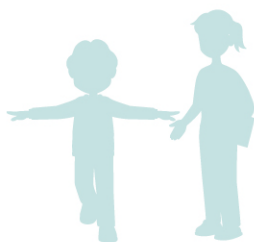


全身元気に！健口教室



今本帆風さん(作業療法学専攻:ダンスでリハビリ教室に参加):受付、実施・運営のお手伝いをさせていただきました。参加されているみなさまがとても生き生きと一生懸命に取り組まれている姿が印象的でした。また、ダンスの後で片足立ちの時間が伸びるなど、とても興味深かったです。参加されているみなさまや講師の教員をどのようにサポートしたら良いかなど、多くのことを学びました。今後に生かしていきたいと思ひます。

金沢有紗さん(言語聴覚学専攻:全身元気に！健口教室に参加):歯磨きの実技指導のお手伝いや咀嚼力の測定をさせていただきました。参加者のみなさまは、まだまだ未熟な私たちの手技に優しくおつきあいくださいました。また、あたたかな言葉がけもいただき、本当に有り難く感じております。一方で、もっと自信を持ってみなさまの役に立てようになりたいと強く感じました。技術や知識を更に身につけて、今回の経験を生かせるように努力したいと思ひます。



ダンスでリハビリ教室
(受付学生:向かって左 石田さん、右 今本さん)



全身元気に！健口教室 (金沢さん)



第16回 美葉祭

大学・短大 学生支援センター 林 広人

10月26日(土)、27日(日)の2日間、第16回大学祭(美葉祭)を開催いたしました。今年度は、大学祭に関わる全ての方と手を取り合い創り上げていきたいというおもいから『Hand in Hand』をテーマに掲げました。

有志で参加いただいたカラオケ大会や、高校グラウンドに設営したメインステージでのパフォーマンス、模擬店やフリーマーケット、大抽選会、移動動物園、バルーンハウス、キッズコーナーやメディカルチェックなど、様々なイベントが開催されました。

また、芸能人ゲストとして、ツートライブ、ネイビーズアフロ、ラニーノーズを迎えての吉本お笑いLIVE、若手俳優の小

関裕太さんのトークショー、毎年恒例の大道芸人のキャサリンによるパフォーマンスショーが、多くの観客を魅了し盛況でした。

2日間を通して天候にも恵まれ、約2,800名の来場者にお越しいただきました。

大学祭実行委員会の学生を中心に、来年度も多くの方々思い出に残る企画を実施いたしますので、ぜひご来場ください。

開催にあたりご協力いただきましたみなさま、改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。





第10回 関女技能オリンピック

大学・短大 学生支援センター 北條 樹



11月30日(土)、第10回関女技能オリンピック表彰式が開催されました。このオリンピックは各学科の専門職に特化した技術を競い合う技能大会で、技術の向上と自己研鑽を目的として実施しています。表彰式では、6月から11月にかけて各学科で行われた予選・本選にて優秀な成績を収めた学生・ゼミが表彰されるとともに、金賞受賞者による素晴らしい実演が披露されました。



★保育学科

テーマを「健康と安全」「自然に親しむ」「昔話」のいずれかから各ゼミが自由選択し、今井ゼミによる～劇(4歳児対象)「アンパンマンとはみがきマン」～が披露されました。



★養護保健学科

テーマは「養護実習での学び」。金賞を受賞した大西ゼミでは、養護教諭の専門性と責任、児童への対応、教職員との連携、服務について報告がありました。

★歯科衛生学科

「ラバーダム防湿」のテーマのもと、患歯清掃からラバーシート穿孔、クランプの試適・適合からフレーム装着までの実演がありました。



★医療秘書学科

テーマを「患者対応業務(初診受付・クレーム対応)」とし、患者さんへの適切な対応が実演されました。

たくさんの笑顔とありがとうに出会う

『保育フェスタ 造形作品展 & アートワークショップ』

短大 保育学科 宇津木 七実

毎年11月23日(祝)に開催される「保育フェスタ 造形作品展」は、今年度で11回目となりました。保育職を目指す学生の、表現に関する学修成果発表と、子どもたちとふれあう事での学びの機会となる行事です。教職員のサポートを受けながら1年生が主体となって企画準備をしました。今回も天候に恵まれ、学園内外からの来賓の方々、附属幼稚園や地域の子どもたちと保護者の方々等、293名と多数の

御来場をいただきました。同時開催のアートワークショップ会場にも、子どもたちの楽しそうな声と嬉しい笑顔があふれていました。保護者の方々からも「子どもたちのためにありがとう」という言葉をたくさんいただき、保育者の卵として一歩成長した一日でした。



令和元年度 クラブ活動状況

おもな戦績・結果



日本拳法部



第23回 西日本高等学校日本拳法選手権大会(4月 大阪府)
団体戦 男子 優勝

第23回 西日本高等学校日本拳法選手権大会(5月 大阪府)
個人戦 男子 有段の部 優勝、準優勝、第5位(1名)
女子の部 第5位(4名)

第18回 大阪高等学校春季日本拳法大会(5月 大阪府)
団体戦 男子 優勝 女子 準優勝
※この結果、男女とも第64回全国選手権大会大阪代表となる

第64回 全国高等学校日本拳法選手権大会(7月 大分県)
団体戦 男子 準優勝 優秀選手賞獲得
女子 第3位 優秀選手賞獲得
個人戦 男子 優勝
女子 準優勝、第3位

令和元年度 第74回 大阪高等学校総合体育大会
日本拳法競技会(9月 大阪府)
団体競技 男子 優勝 女子 優勝
個人競技 男子 優勝、準優勝、第5位(2名)
女子 準優勝、第3位、第5位(2名)

2019日本拳法総合選手権大会(9月 大阪府)
第49回 全日本拳法高校男子個人選手権大会
男子 優勝、準優勝

第25回 全日本拳法高校女子個人選手権大会
女子 第4位

令和元年度 第66回
大阪私立中学校高等学校体育大会(10月 大阪府)
団体戦 男子 優勝 女子 優勝

バドミントン部

2019年度 全国高等学校総合体育大会
大阪府予選会(4~5月 大阪府)

学校対抗の部 女子 第3位
学校対抗の部 男子 第3位

第74回 大阪高等学校総合体育大会バドミントン競技の部
学校対抗の部 女子 第3位
学校対抗の部 男子 第5位

第65回 近畿高等学校バドミントン選手権大会
大阪府予選会(8月 大阪府)
※この大会で女子2名・男子4名が、11月に滋賀県大津市で行われる、
近畿高等学校バドミントン選手権大会に出場が決定

第68回 近畿総合バドミントン選手権大会
ダブルスの部 女子 2回戦進出

第66回 大阪私立高等学校総合体育大会
バドミントン競技の部

学校対抗の部 女子 準優勝
学校対抗の部 男子 第3位



なぎなた部

令和元年度 春季大会 兼
インターハイ大阪府予選会(6月 大阪府)

団体の部 優勝
演技の部 優勝、第3位
個人の部 第2位

※この結果、全部門で全国大会(沖縄インターハイ)に出場が決定

令和元年度 全国高等学校総合体育大会
なぎなた競技大会(8月 沖縄県)

団体の部 5位入賞
演技の部 2位入賞
個人の部 決勝トーナメント進出
※団体は選抜大会に続き全国5位入賞、
個人は本校初の決勝進出で2位入賞

第74回 大阪高等学校総合体育大会
なぎなた競技(8月 大阪府)

団体の部 優勝
演技の部 第3位
個人の部 優勝、第2位、第3位

※昨年に引き続き、新チームが大阪で優勝を果たす

第66回 大阪私立高等学校 なぎなた大会(9月 大阪府)

団体の部(学校対抗の部) 優勝
演技の部(トーナメントの部) 優勝
個人の部 優勝、第2位、第3位

いきいき茨城ゆめ国体2019 なぎなた競技会(9月 茨城県)

団体の部 優勝
※7年ぶり4回目の優勝を果たす。
(7年前は、林田 智笑 体育科教員がメンバー)



バレーボール部

2019年度 春季大会 兼 大阪高校選手権大会 兼
全国高校総合体育大会近畿大会 国民体育大会 大阪府予選
4回戦進出

卓球部

第72回 大阪高等学校卓球選手権大会(5月)
女子の部 学校対抗 5位入賞
ダブルス ベスト16(1組)

※2種目で第73回 近畿高等学校卓球選手権大会(奈良県)に出場決定

第66回 大阪私学総合体育大会(9月)
女子の部 第3位

第72回 大阪高等学校新人卓球大会(8月)
女子の部 学校対抗 ベスト8
シングルス ベスト8
ダブルス ベスト16

第74回 大阪高等学校総合体育大会(11月)
女子の部 学校対抗 ベスト8

※上記、8月と11月の大会の結果により、
第34回 近畿高等学校新人卓球大会(12月 兵庫県)に出場決定



テニス部

第33回 大阪高校サマートーナメント (8月)

女子 シングルの部 予選ブロック 優勝
 ダブルスの部 予選ブロック 優勝
 男子 シングルの部 予選ブロック 優勝
 ダブルスの部 予選ブロック 優勝

第74回 大阪高等学校総合体育大会 テニス大会 (8月)

女子 ダブルスの部 予選ブロック 優勝
 男子 ダブルスの部 予選ブロック 優勝

サッカー部

令和元年度中河内サッカーリーグ (11月)

準優勝

水泳部

令和元年度 中央大会大阪高等学校総合体育大会
水泳競技大会 (6月)

男子・女子 400mリレー・メドレーリレー
 男子 50m自由形、100m・200m平泳ぎ
 女子 50m・100m・200m・800m自由形 出場

陸上競技部

第72回 大阪高等学校陸上競技対抗選手権大会 (5月 大阪府)

女子 走り高跳び (2名)
 男子 800m、4×100m

第74回 大阪高等学校総合体育大会 (8月 大阪府)

男子 200m、400m、800m

第3・4地区秋季大会 (10月 大阪府)

男子400m、800m

※第18回 阪奈高等学校対抗陸上競技大会への出場権獲得

美術・漫画研究部

第68回 大阪私学美術展 兼

大阪私立中学校高等学校芸術文化祭典 (7月 大阪市立美術館)

工芸部門 優秀賞 (女子)、奨励賞 (女子)
 デザイン部門 奨励賞 (男子)

吹奏楽部

第56回 大阪府吹奏楽コンクール 中地区大会 (7月)

銅賞獲得 (大編成部門)

演劇部

第69回 大阪府高等学校演劇研究大会 H地区大会 (11月)

男子 個人演技賞

“黄昏コンサート”

～ in Tama Square ～

高校 安田 伸一

11月14日 (木) に初めて、「Tama Square ～たまひろば～」の点灯式と合わせ、“黄昏コンサート”を開催させていただきました。

下校時の寒い中ではありましたが、たくさんの生徒、職員の方々にお集まりいただき、クリスマス色を出した選曲で、約30分間の演奏をさせていただきました。大きな「アンコー

ル！」の声もかかり、大変盛り上がることができ、部員たちは日頃の練習の成果を十分発揮することができました。

次回は少し暖かくなった季節にさせていただき予定ですので、ぜひ、聴きにきていただきたいと思います。



学園祭

「Show your Originality」

～輝け!! ひとりひとりの個性!!～

高校 岩本 道雄



「Show your Originality ～輝け!! ひとりひとりの個性!! ～」例年通り代議委員会が全校生徒に公募し、応募された候補から生徒会役員の選考によって決定された今年度の学園祭テーマです。テーマの持つ意味をしっかりと考え生徒全員の思い出に残る学園祭にすることが、4月にスタートした今年度の生徒会が取り組む最初の大仕事でした。

一人ひとりが自分の思いを載せて、先輩たちからの伝統を引き継ぎ、自分たちの個性を加えた活動を目指しました。

他の人とは違う自らの個性を発見しそれを発信することで、周囲の仲間に分かることを知ってもらう。たくさんの個性を集めて一つのことをやり遂げる。学園祭が生徒の個性を発信できる機会になればよい。そんな思いで生徒会役員が協力しながら取り組みました。

昨年度、大きく様変わりした模擬店の実施場所、タマスクエアと高校本館の軒下。これらのお陰で、3年生は希望があれば全クラス模擬店が実施できました。1年生は展示と舞台、2年生はイベントと舞台、それぞれのクラスが企画を1学期から始め、早い時期から制作に取り組んでいました。文化祭前日の舞台鑑賞には、昨年度同様、吉本興業の若手漫才師を招き、大いに盛り上がりました。本祭もつまようじアートやステンドグラスなどクラス全員の協力で作られた作品が目を見わたされました。昨年度から実施された高校本館7階の多目的室では、吹奏楽部とギター部に加えて箏曲部も発表でき、練習の成果を披露してくれました。天候にも恵まれ、1,000人を超える来場者で校内は熱気に包まれていました。

学園祭の締めくくりは体育祭です。例年雨天に悩まされ、今年も心配しましたが予定日に実施でき、平日にもかかわらず、400人を超える保護者の方が来場されました。3年生のパワーが1,2年生を圧倒する結果となりましたが、応援合戦も各学年、代表生徒のパフォーマンスに学年の生徒が協力し、一体感のある盛り上がりを見せてくれました。土のグラウンドでの最後の体育祭、来年度は人工芝の緑の中での実施となります。ますます整う環境の中で、生徒たちの躍動する姿に来年の学園祭のイメージを頭の片隅に思い浮かべる一日でした。

今年度の学園祭は終了いたしました。たくさんのご支援に、生徒会一同、心より感謝申し上げます。これからも、日々の活動に全力で取り組んでいきたいと思っております。有難うございました。



初めての運動会

幼稚園 浅野 友希

10月26日(土)、乳児棟(0・1・2歳児)の運動会が学園総合体育館Do夢にて行われました。第1回目の運動会ということで私たち保育者も子どもたちと同じでドキドキワクワク!みんなが初めての運動会でした。体育館内は、動物や風船、子どもたちが描いた旗などで可愛く飾り付けられ、当日登園してきた子どもたちは「わぁ〜!」とニコニコ笑顔を見せてくれました。

開会式からお家の人に抱っこをしてもらったり手をつないだりして入場し、運動会に参加しました。たくさんのお客さんが見ている中、そしてお家の人も一緒なので普段の園生活とは違う様子を、戸惑う姿も見られましたが、それぞれの競技や演技に楽しんで参加してくれました。閉会式では、

園長先生から頑張ったご褒美のピカピカ金メダルをもらい、とても嬉しそうにしていました。ドキドキワクワクの初めての運動会は、子どもたちのニコニコ笑顔や素直な可愛いぐさにあふれた、楽しいひと時でした。これからも子どもたちのたくさんの成長を見守っていきたいと思います。ご来賓のみなさま、保護者のみなさま、あたたかなご声援ありがとうございました。



1
2 3

楽しかったね、運動会

幼稚園 貝野 滯

待ちに待った運動会が10月14日(月・祝)に行われました。運動会当日は、あいにくの空模様。開会式中には雨粒がぽつぽつと…。しかし子どもたちの「晴れますように」の思いが届いたのか、空を覆っていた雨雲も去っていき、活動のしやすい天候となりました。保護者の方と登園してきた子どもたちは、たくさん練習してきたこともあり、自信満々の表情を見せてくれていました。

年少組・満3歳児組にとっては初めての運動会。小さな身体を一生懸命動かして、かけっこやお遊戯を楽しんでいました。年中組は、色とりどりのポンポンを持って元気いっぱいに踊ったり、体育遊具では、あきらめずに取り組んだりする姿が見られました。年長組はたくさんの競技や演技に真剣に取り組み、たくさんの感動を与えてくれました。

子どもたちが力を合わせて取り組む姿に大きな成長を感じた運動会となりました。





あおぞら号に乗ったよ



幼稚園 神庭 光花

11月7日(木)、榎原神宮へ遠足に行きました。前日から、「電車に乗るんだよね?」と電車に乗っていくことを楽しみにしている様子でした。当日は、とってもいい天気!!今年度からは2歳児クラスのこすもす組さんも参加し、いざ出発!!

榎原神宮に向かう「あおぞらII」がやってくると、子どもたちは大喜びで、「白と水色の電車や」と口々に言いながら、友だちとの会話を楽しんだり、窓から見える景色を楽しんだりしていました。

榎原神宮に着くと、紅葉した木々や木の実、広い草原など自然がいっぱい。

子どもたちは、いろいろな種類のどんぐりや、赤や黄色に変わった葉っぱなどを、自分たちで作った袋や箱に大喜びで集めていました。また、自然いっぱいの中で、美味しいお弁当を食べ、友達とたくさん遊び、楽しみました。

帰り道では、疲れて寝てしまう子どももいましたが、「たのしかったね」「電車に乗れてよかった」と友だちと楽しくおしゃべりをして帰ってきました。電車に乗ってたくさんの自然に触れ、友だちといっぱい遊び、子どもたちの思い出に残る遠足になりました。



たくさんの作品ができたよ

幼稚園 平岡 教子

11月23日(土・祝)、作品展が行われました。どの作品も一人ひとりの思いのこもった、たった一つの作品です。同じ素材、材料を使っても年齢によって全く違う作品になっていて、子どもたちの発想には驚かされます。

今年度は、たんぼぼ組(0歳児)、ちゅーりっぷ組(1歳児)、こすもす組(2歳児)が加わった初めての作品展となりました。ペタペタと絵の具の感触を楽しんだり、お散歩で集めたどんぐりに絵の具をつけて転がしたり、遊びながら作った楽しい作品がいっぱい!

ひよこ組、桃組は素材遊びから作品作りに発展させることが多く、例えばトイレトペーパーの芯で遊んでいると「なんか王様のいすみたい!」「望遠鏡になってきた」と口ぐちに言いながら、「こんなんできた～」と作品ができていきます。赤組では自分の使いたい材料を選び、色や形にとらわれず、手足が汚れることも気にせず夢中になって作っていました。教室をのぞいてみると、どの子どもも真剣な顔で頑張る姿が見られ、微笑ましく感じました。青組ではクラス

ごとにテーマがあり、みんなで話し合っ作るものを決め、材料を選び工夫して作りました。

子どもの想いはそれぞれ違い、個性にあふれていて素晴らしいものだと感じています。

子どもたちは作品作りを経験して、目標に向かって最後まで頑張る気持ちや、やり遂げたことに自信を持ち、またひとつ心も体も大きくなりました。

また、短期大学保育学科の学生さんたちにはボランティアでいろいろと

お手伝いいただきましたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。



建学の精神 「感恩」

人は さまざまな恩恵のもとで 生かされている
この真理に目覚め 感動と感謝から生まれる 豊かな心と情熱をもって
人の幸せを願い 行動するとき 私たちは成長し 社会に貢献できる
～「ありがとう」に出会い 気づき 感動感謝の行動から
新しい「ありがとう」が生まれる～

使 命

建学の精神「感恩」を実践する人を育成し 豊かな未来社会をつくる

綱 領

- 1.学生 生徒 園児のもてる力 志をひきだす
その教育実践により 学園職員も豊かになる
- 2.教育人として 自己の能力 人格の向上に努め その使命を誠実に遂行し
未来を拓く「知・志」を継承 創造する
- 3.各校園は 教育理念のもと 具体的な教育目標を掲げ 常に改革の意識を
もって 創意工夫 試行を重ね その達成に総力を結集する
- 4.継続 発展を創り出す確かな組織力と 健全な財政基盤を確立する

ビジョン

【玉手山学園の実践・実現】 For the students

- 1.夢と志 (*Dreams and Wills*) を育てる学園 (学園ブランドに)
～ありがとう 笑顔 あいさつ 優しさを大切に～
- 2.学園教育力の向上
 - ・教育の質向上 (学修成果(できるようになる)・修学成就)
 - ・組織安定
 - ・4校園体制堅持 (大学 短期大学 高等学校 認定こども園)
 - ・健全収支
- 3.地域共生 社会に愛され 成長する学園
- 4.教育環境の充実 (安全 安心 快適 ECO)
- 5.学園総合力の向上 (学園ファミリー意識)
各校園 (職員) の相互協力 尊重 豊かな職場

本部

Tama Café

Instagramページ OPEN!!

法人本部 経営企画室 江端 万純

Tama Caféは更なるクオリティアップの為、学生・生徒さんを交えたワーキングチームで定期的に打合せを行っています。ワーキングのメンバーから、混雑緩和・時間短縮のためにTama Caféのメニューをオンラインで見たいとの要望がありました。その意見を踏まえてこの度、Tama CaféのInstagramページがOPENしました。

定番メニューの掲載をはじめ、フェアの情報や新メニューの紹介など様々な情報が投稿されていく予定なので、是非フォローをよろしくお願いします！

Follow me



Instagram



玉手山学園グッズ 第4弾

「Tamaボールペン」と 「TAMA BREAK」

～ 学園ボールペン4種とブランシェタカギコラボの新食品グッズ～

法人本部 経営企画室 江端 万純

待望の新学園グッズである「Tamaボールペン」と「TAMA BREAK」が販売開始されました。

「Tamaボールペン」は4種類あり、建学の精神「夢と志」をペンを使う度思い出してほしいという願いを込めて「TAMATEYAMA～DREAMS&WILLS～」が刻まれています。大人気で使い勝手抜群のJET STREAMとSARASA。計算された重量感に気品と風格、使い続けるほどに手になじむオークウッドを使用した生涯を共にしたいPURE MALT。

さあ、WHICH PEN CALLS TO YOU? (どのペンがあなたを呼んでますか?)



三菱JET STREAMのホワイト 0.5mm 100円



三菱JET STREAMブラック 0.7mm 100円



ZEBRA SARASAのブルー 0.5mm 80円



三菱PURE MALTオークウッド
プレミアムエディション 1.0mm
4,000円

※価格は全て税込表記です。
※ボールペンのインクは全て黒色です。

「TAMA BREAK」は地元で有名な河内国分・藤井寺に店舗を構える洋菓子店「ブランシェタカギ」と玉手山学園コラボの焼きチョコクッキーです。

ストロベリーチョコレート・ホワイトチョコレート・ミルクチョコレートの3種類を特別に玉手山学園仕様で2個ずつ詰めた1袋6個入りの商品となります。こだわりのフレッシュバターを使用し無添加で良質な素材のみで作られている「TAMA BREAK」は1度食べるとヤミツキになるおいしさです。

あなたも、HAVING A TAMA BREAK? (TAMA BREAK 休憩しませんか?)

令和2年5月までの
キャンペーン価格

学生、生徒、園児さんに
たくさん食べて
HAPPYになって
ほしいから



TAMA BREAK
100円



学園広報編集委員会

委員長	湯川 雅紀 (大学教育学部)	古橋 正則 (高等学校)	與原 真弓 (法人本部)
委員	横山 学 (大学事務局)	稲垣 晃子 (幼稚園)	松井 愛 (法人本部)
	辻村 匡志 (大学事務局)	植田 陽 (法人本部)	